



# ある中国残留孤児の生涯①

新町 齋藤留治

社会派作家として数々の著作を残した山崎豊子さん。ご存じの方も多いと思いますが、山崎さんが表した、「二つの祖国、不毛地帯・大地の子」という長編小説は戦争3部作とも呼ばれています。

「大地の子」はこの3部作の中で最後に発表された作品で、山崎豊子さんが8年の歳月と中国の関係者の協力で完成させる事が出来たといわれています。

作品は後に平成7年の年末頃、NHKテレビドラマとして何回かに分けて放送され、残留孤児役の主演上川隆也さん、日中の壁が閉ざされた中で満州に置き去りにした子供達を探す父親役の仲代達也さんの演技に、心を痛めてご覧になった方も多かったと思います。

この本を書く事が出来た裏側について、山崎さん本人が「あとがき」で次のように述べておりました。

「大地の子」の取材の中で胡耀邦総書記との面会が叶い、初対面でききなり総書記に「中国の官僚主義は根深く、取材の壁が高い」と批判したということ。

総書記はその姿に打たれた様子で「中国を美しく書かなくとも、真実なら欠点も書いてよい」と取材許可を出した。

当時は外国人に開放

されていない場所が多かったが、300人以上の孤児から取材できたのも総書記との対話と信頼があったからかもしれない。(その後胡耀邦総書記は天安門事件の責任を取らされて失脚させられたのは残念でした。

前段が長くなりまして、先日、日中民間交流を目的として設立された日中友好協会山形県支部総会で、「大地の子」でモデルとなった主人公とは若干生きてきた環境は違っていました。Sさんの記録と題した講演会を聞く機会がありました。

言葉と文章がはつき

り理解できないところもありましたが、潮目が変わったと言っても人間性を置き忘れたアベ政権、Sさんの言葉の「日中不再戦」が心に残ったお話でした。今後数回に分けてSさんの生涯を若干編集し直して、「日本軍から見捨てられて多くの開拓団員が自決を余儀なくされたこと、帰国後も苦難の生活が待っていたこと、結びで戦争は何があってもダメ」という順序で掲載させていきたいと思いますので、目を通していただければ幸いです。

(本紙に掲載することにつきましては、日中友好協会山形県支部、及び県内在住の本人からも同意をいただいております。)



騙された満州移民募集

## 労働基準法は労働条件の最低基準を決めたもの、使用者は向上に努める義務

―あらためて憲法を学ぶ― 青山崇

働く国民の大多数は、雇われて賃金で生活する以外にない雇用労働者で、憲法第27条は「すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。」と定め、同条2項で、権利と義務を果たせる

ように「賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める。」とし労働基準法があります。その第1条は、「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営

むための必要を充たすべきものでなければならぬ。2項 この法律で定める労働条件の基準は最低のものであるから、労働関係の当事者は、この基準を理由として労働条件を低下させてはならないこととはもとより、その向上を図るよう努めなければならない。」とし、これは最低の労働条件を定めたもので、その向上に努めなければなりません。ところが1947(昭和22)年制定され、70年もたった



### 変な支持率調査

先に、適材適所がこんなだから別の人を並べてもダメでしょ・と書きましたが、内閣改造と称して並べ替えをしました。そしたら支持率の調査をやったんだと。またなにも仕事をしないのにサ。

▲おれが目にしたのは、毎日新聞と共同通信の調査でしたが、それぞれ40%前半まで上がっているんだネー。これで官房長官などが喜んで出ていましたヨ。

▲改めて言うが、まだこの方々仕事をしていないんだヨ。ということとは、単なる期待を聞いた調査だと思っぜ。それを喜んでこそんま落ちるでしょうよ。

▲新たになった大臣が喜ぶのは判るが、そんな大臣はヨ、ツラつけなくもモリカケを明らかにすることも、防衛相の文書を隠したこと

今、向上などはほとんど見られず逆に改悪されています。

私たちが現役の時、その名前すら聞かなかった「非正規労働者」「パートタイマー」、「アルバイト」、「契約社員」(期間社員)、「契約職員」(臨時職員)、および「派遣社員」などで、ポーナスや社会保険がないことが多い)が登場し、1990年には20%だったのが2015年には実に40%に倍増しているのです。

を調査することも否定しているんだから。何のためになったんだ。そんな大臣を喜ぶ国民がいるか一つ。

▲丁寧な説明を言う総理はこんな大臣を怒れないんだ。だから支持率が上がる訳がないんだ。ともあれ、国民が納得する国会には程遠いことは間違いないから、真実を求めて私達の戦いは続くのだぞ。

▲一方10月15日には、市長と市議会議員の選挙があるが、市長にも文書管理で大きな失態があった。三川町とのゴミ問題では一方的に書類を出したこと・その公印を押した責任と建設費が当初の倍以上になった文化会館の事。▲議員では新人が何人か噂になつていますが、共産党を除けば全て市長の提案に賛成の方々ですぞ。市長の間違いを正せない議員を増やさないようにしないと。

(石川)